

令和5年度集落座談会開催結果【概要】

NO.	地域自治区	集落等の名称	内容	日程	会場	参加住民数	地域の良い点、地域をどのようにしたいか など	地域の課題、地域からの意見・要望 など
1	天竜	県立天竜高等学校 (1年～3年生)	ワークショップ	6月17日（土）	天竜区役所	生徒11名 教師2名	・クローバー通りに商店が増えてきた。 ・地域の人が温かく、関わりが多いため楽しく生活ができそう。 ・地域資源を生かしたイベントが多く、地域を深く知ることができる。	・大型ショッピングセンターがなく不便。 ・携帯電話の電波状況が悪いところがある。 ・土砂災害が多い
2	水窪	榊原自治会	座談会	6月19日（月）	水窪山村開発センター	10名	・お祭りで水窪町を活性化したい。 ・老々介護でも近所や親戚と助け合って頑張って生活している。 ・自然の宝庫で景色がきれい。 ・浜松山里いきいき隊は良い制度。助けてもらっている。更に人員を増やしてもらいたい。	・都市部と交流できる仕組みを作ってもらいたい。 ・有害鳥獣が増加している。 ・若い人たちの働く場所がない。 ・道路は1回崩れると復旧に時間がかかる。仮復旧で早急に通れるようにしてほしい。
3	天竜	西鹿島自治会	ワークショップ	6月20日（火）	天竜児童館	23名	・ボランティア団体が盛んに地域活動に取り組んでいる。 ・地域の連携、住民同士の関わりが深く、つながり意識の高さを感じる。 ・都市部への交通手段（遠鉄電車）があり便利。	・避難所の見直しをしてほしい。 ・商店が減少している。 ・子供たちが遊べる場所がない。
4	天竜	熊地域 (大地野・坂野・寺平自治会)	座談会	6月21日（水）	大地野老人憩いの家	9名	・地域内での助け合いが当たり前に出てきている。 ・隣家まで10mくらいの距離で住めるのは贅沢である。 ・車などの騒音がなく、空気が澄んでいてとても暮らしやすい。 ・水がとてもきれいで安心して飲める。	・通院に1時間以上かかってしまう。 ・道路の整備・改修をしてほしい。 ・地域行事が人口減少により実施困難。
5	天竜	天竜剣志会 (剣道クラブ保護者)	ワークショップ	6月23日（金）	天竜区役所	19名	・自然に囲まれ、のびのび生活ができる。 ・子供の数が少ない分、先生の目が行き届いた教育ができていると感じる。 ・自然が多く、子育てにはとても良い環境。	・公共交通機関（バス）の本数が少なく不便。 ・天竜高校への通学手段が少なく不便。 ・子供たちが遊べる場所がない。
6	都田	鷲沢・滝沢自治会	座談会	6月28日（水）	都田協働センター	26名	・地域外から入ってきた人たちを優しくもてなし、細々とでも町を残していこうという意志を見せたい。 ・祭典や敬老会など自治会と女性部と手を取り合い開催していきたい。 ・空気が美味しく景色が綺麗。	・一人暮らしの高齢者が増加。 ・空き家が増加している。 ・「移動スーパー」や「にこにこバス」は将来必要になる。
7	佐久間	県立湖北高等学校 佐久間分校(3年生)	ワークショップ	6月29日（木）	佐久間協働センター	生徒8名 教師2名	・自然が豊かで空気が綺麗。 ・地域の人たちが優しく、住民同士の距離がとても近く感じる。 ・民族的な文化が残っており、伝統を大事にする人が多い。	・土砂崩れなど自然災害が多い。 ・コンビニエンスストアがなく不便。 ・JR飯田線の本数が少なく不便。
8	水窪	大野自治会	座談会	7月3日（月）	大野集会場	13名	・地域内住民同士協調性があり、自治会活動参加に積極的。 ・自分達で出来る事はやろうという団結力がある。 ・住民全ての人と遠慮なく、快く挨拶や会話ができる。	・林道は生活道路。最低でも月に1回は点検をしてもらい車両が通行できる状態を確保して欲しい。 ・飲料水供給施設の維持は補助金をもらってやっていかないと心配。
9	佐久間	中部自治会	座談会	7月3日（月）	佐久間協働センター	9名	・昔から住民同士の繋がりを大切にする意識があり、地域活動には多数の参加者がある。 ・若者が地域に入って活動してくれるのは非常に心強い。 ・ひかり回線がつながるようになった。	・災害時の道路早期復旧を望む。 ・農林業等第1次産業の発展を望む。 ・高齢者福祉施設のスタッフ不足への対応。
10	春野	基幹集落自治会	ワークショップ	7月4日（火）	春野協働センター	20名	・森林が綺麗に整備されているまちにしたい。 ・若者が暮らしやすい町にしたい。 ・“少ない人口で暮らし続けられる郷土”という基本方針を持つ。	・医療機関を維持してほしい。 ・産業を誘致してほしい。 ・保育ママをもっと使える仕組みにしてほしい。 ・町外から人（若手）を連れてくる。
11	三ヶ日	地域団体所属者	座談会	7月5日（水）	三ヶ日協働センター	12名	・地域の人たち、児童保護者が学校行事に協力的。 ・マリンスポーツなど観光資源が豊富。 ・三ヶ日みかんブランドの健在。	・農業の後継者不足による耕作放棄地の増加。 ・有害鳥獣の増加。生態系が変わってきているように感じる。 ・山間部は交通の不便さが心配。
12	春野	遠隔地集落自治会	ワークショップ	7月6日(木)	春野協働センター	20名	・春野町に住んでいる人が夢を持てるような町にしたい。 ・若い人たちが楽しく生活できるような町にしたい。	・公共交通機関（バス）の本数が少なく不便。 ・災害になりそうな箇所の事前防災対策や、迂回路の整備をしてほしい。 ・総合病院や薬局がない。
13	引佐	寺野自治会	座談会	7月8日（土）	寺野公民館	14名	・移住者が来ても快く迎え入れる地域。 ・自然に恵まれており、子育てには良い環境である。 ・30代、40代の人たちの地域愛が強い町。	・地元に住んでいる人がタクシーの代わりを行えるような制度の創設。 ・有害鳥獣が増え、農作物の被害が増えている。 ・食料品を購入するために遠くまで出かけるため、時間がかかる。

令和5年度集落座談会開催結果【概要】

N0.	地域自治区	集落等の名称	内容	日程	会場	参加住民数	地域の良い点、地域をどのようにしたいか など	地域の課題、地域からの意見・要望 など
14	春野	県立天竜高等学校 春野校舎(1年～3年生)	ワークショップ	7月11日(火)	春野校舎	12名	・自然が豊か。 ・キャンプ場や秋葉神社など観光スポットが豊富。 ・住民同士の距離が近く、温かい。	・空き家が増加している。 ・地域内での若年層の就職先が少ない。 ・公共交通機関(バス)の本数が少なく不便。
15	佐久間	野田自治会	座談会	7月15日(土)	野田自治会館	17名	・移動販売が来るようになり、週に1回は地域で買い物ができるようになった。 ・都市部の住民と交流できる場があるといい。野田地区の新たな発見ができる。 ・空き家や情報発信を上手にを使って、地域に関心を持ってもらえる人が増えるといい。 ・ひかり回線が繋がったため、Wi-Fiが使えるようになった。	・人口減少により自治会維持が困難となってくる。 ・災害時の迂回路の整備をしてほしい。 ・災害時、県をまたいだ迂回路となる道路状況の情報提供をしてほしい。 ・ふれあいバスの存続が危ぶまれる。
16	佐久間	PTA・消防団他	座談会	7月18日(火)	佐久間協働センター	8名	・地域に花火大会があるのは素晴らしいと思う。 ・「いる人」の幸せをととても大切にしてくれる地域。 ・高齢者福祉施設に幼稚園児や高校生がボランティアで支援してくれる。	・人口減少により湖北高校佐久間分校がいつまで存続できるか心配。 ・スクールバスの運用を柔軟にしてほしい。 ・山香地区から城西地区までの国道を整備してほしい。
17	春野	若年層世代	ワークショップ	7月25日(火)	春野協働センター	21名	・若い人たちが暮らしやすい町にしたい。 ・春野愛であふれる町にしたい。 ・春野町が100年先もいきいきした町であってほしい。	・若者がチャレンジしやすい環境をつくる。 ・子供の預け先の整備など子育て環境を充実してほしい。 ・今後の課題を集約し、行政と協力して前に進める。
18	水窪	地域団体(よかつつらみさくぼ・小中PTA)	座談会	7月27日(木)	水窪協働センター	12名	・地域ぐるみで子供を見守ってくれており、とても助かっている。 ・地域の良いところをPRし、移住者が来てくれたらうれしい。 ・授業内容が手厚いと思う。	・自助、公助、共助は一定の理解はできるが、十分やっており、限界を迎えそう。 ・湖北高等学校佐久間分校が無くならないか不安。 ・自治会の役など住民一人当たりの負担が増えている。
19	引佐	伊平自治会	ワークショップ	8月4日(金)	伊平基幹集落センター	15名	・自然が豊かで水資源が豊富。 ・インターが近くて便利。 ・のびのびした子育てができる。 ・Welcome集落制度をもっとPRして移住者を増やしてほしい。	・自然災害が多い。 ・公共交通機関が少なく不便、また、地域にガソリンスタンドがない。 ・若年層世代の就職先がない。
20	引佐	鎮玉地区若年層	ワークショップ	8月20日(日)	田沢多目的集会所	8名	・自然が豊かで空気が澄んでいる。 ・高速道路インターが近く、都市部へ行きやすい。 ・地域間の交流やつながりがある。	・公共交通機関(バス)が少ないため、車がないと生活が不便。 ・買い物が不便。 ・避難地に行くのに川沿いから崩れそうなところを通るため危険。
21	龍山	大嶺自治会	座談会	12月6日(水)	龍山協働センター	7名	・移動販売が薬も持ってきてくれるため助かっている ・一人暮らしの高齢者世帯が増えているが、お互い助け合って生活している。 ・山里いきいき応援隊が地域サロンに来てくれて助かっている。	・空き家が増加している。 ・地域NP0が人手不足により活性化できていない。 ・ふれあいバスの停留所まで歩くのがたいへん。
22	龍山	瀬尻自治会	座談会	12月6日(水)	龍山森林文化会館	16名	・地域づくりに森林環境贈与税を充当して、対応していけば天竜区は先進地となるのではないかと。	・災害時の迂回路が危険であるため市道・林道等を迂回路として整備してもらいたい。 ・人口減少により耕作放棄地や空き家が増加している。 ・農地を放置する家が多くなり、有害鳥獣が増加している。
					合計	314名	【生活】・移動販売は非常に便利。 ・若者が地域へ入って活動してくれるのは力強い。若い戦力を入れて地域を守っていくことが大切。 ・空き家や情報発信を上手にを使って、地域に関心を持ってもらえる人が増えるといい。 ・光回線がつながり、通信環境が向上した。 【環境】・自然が豊かで住みやすい。 【子育て】・地域ぐるみでの子供の見守り(登下校時等)や自然に恵まれているので、のびのびと子供を育てられる。 【コミュニティ】・地域内での協調性や団結力があり、助け合いができています。住民同士の関わり、つながりが深く距離が近い。 【人】・地域の人が温かい。人情が篤い。 【市制度】・浜松山里いきいき隊は良い制度。助けてもらっている。更に人員を増やしてもらいたい。 ・Welcome集落制度をもっとPRして移住者を増やしてほしい。	【生活】・人口減少による空き家や耕作放棄地の増加、有害鳥獣の増加。 【環境】・農林道として利用している生活道の整備をしてほしい。携帯電話の電波状況の悪い箇所がある。 【交通】・地域コミュニティバスなど公共交通機関(バス)の本数が少なく通学や高齢者等の移動が不便。 ・車がないと生活が不便。 【防災】・災害時に備えた迂回路整備や改修をしてほしい。同報無線が聞き取りにくい場所がある。 ・道路は1回崩れると復旧に時間がかかる。仮復旧で早急に通れるようにしてほしい。 ・災害時、農林道や市道の早期復旧をしてほしい。 【子育て】・子供を預ける場がなく母親が働きにいけない、近所に公園など子供たちの遊び場がない。 【医療・福祉】・住んでいる地区に病院が欲しい。 ・福祉施設の人材不足に対する支援をお願いしたい。 【産業】・若者の働く場が地域内にない。農林業の後継者がいない。

「中山間地域」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域住民アンケート

結果概要

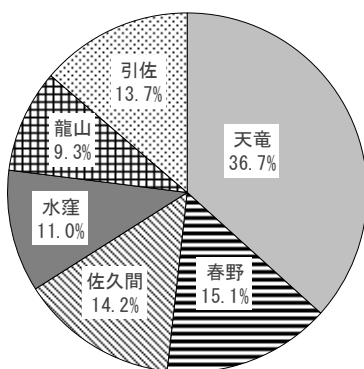
- ◆このアンケート調査は、令和7年度を始期とする第三次浜松市中山間地域振興計画を作成するにあたっての基礎資料とするため、中山間地域にお住まいの方を対象に行なったものです。
- ◆このアンケート調査は、上記区域内の18歳以上（R6.1.24現在）の方から無作為に抽出した630の方に送付し、365の方に回答をいただきました。

■ 集計上の留意点

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 「全体」を基数とし、回答割合はこれを100.0%として算出した。
- (3) 複数回答が可能な質問でも、基数となる実数は「全体」であるため、パーセントの合計は通常100.0%を超える。

1 回答者について

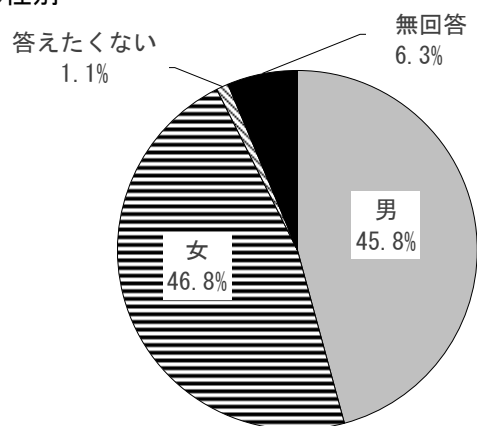
問1 あなたのお住まいの地域について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。



	回答数	割合
天竜地域	134	36.7%
春野地域	55	15.1%
佐久間地域	52	14.2%
水窪地域	40	11.0%
龍山地域	34	9.3%
引佐地域	50	13.7%
無回答	0	0.0%
全 体	365	100.0%

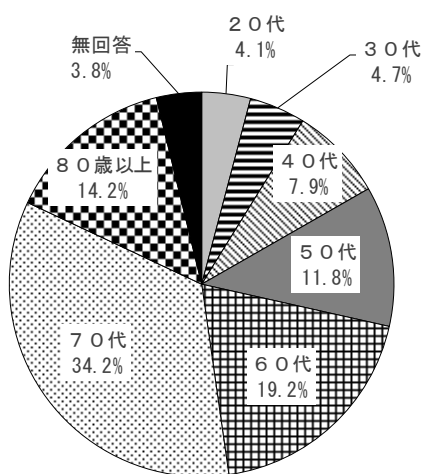
問2 あなたの性別・年代について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

①性別



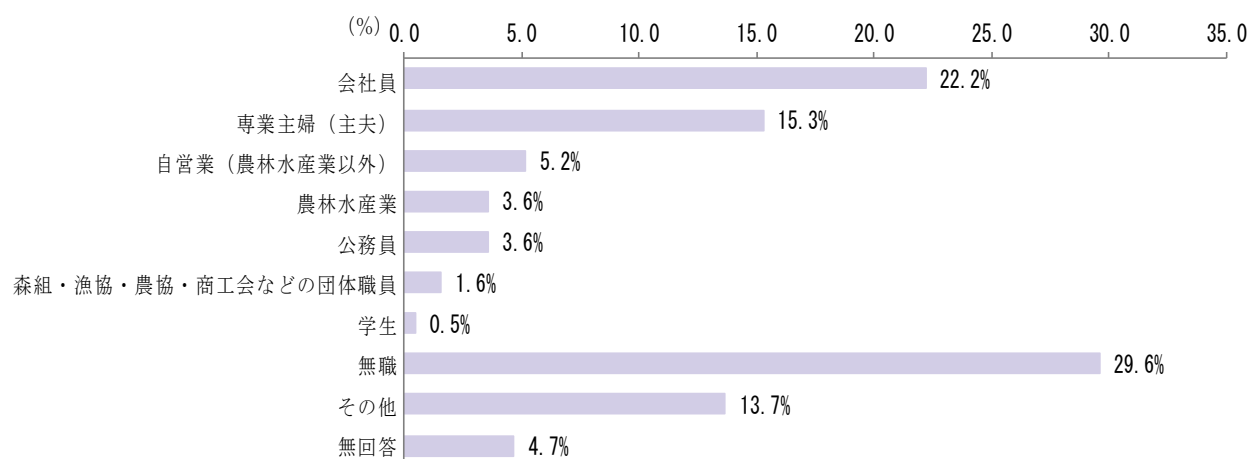
	回答数	割合
男	167	45.8%
女	171	46.8%
答えたくない	4	1.1%
その他	0	0.0%
無回答	23	6.3%
全 体	365	100.0%

②年代



	回答数	割合
10代	0	0.0%
20代	15	4.1%
30代	17	4.7%
40代	29	7.9%
50代	43	11.8%
60代	70	19.2%
70代	125	34.2%
80歳以上	52	14.2%
無回答	14	3.8%
全 体	365	100.0%

問3 あなたの職業について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください

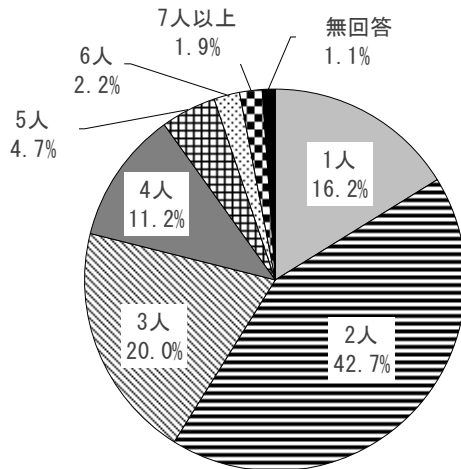


	回答数	割合
会社員	81	22.2%
専業主婦(主夫)	56	15.3%
自営業(農林水産業以外)	19	5.2%
農林水産業	13	3.6%
公務員	13	3.6%
森組・漁協・農協・商工会などの団体職員	6	1.6%
学生	2	0.5%
NPO法人職員	0	0.0%
無職	108	29.6%
その他	50	13.7%
無回答	17	4.7%
全 体	365	100.0%

2 世帯の状況について

問4 あなたの世帯の人数について、お答えください。

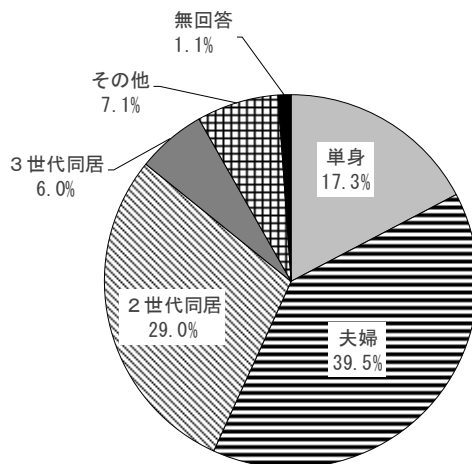
(あなたを含めた人数を記入してください)



	回答数	割合
1人	59	16.2%
2人	156	42.7%
3人	73	20.0%
4人	41	11.2%
5人	17	4.7%
6人	8	2.2%
7人以上	7	1.9%
無回答	4	1.1%
全 体	365	100.0%

問5 あなたの世帯の構成について、お答えください。

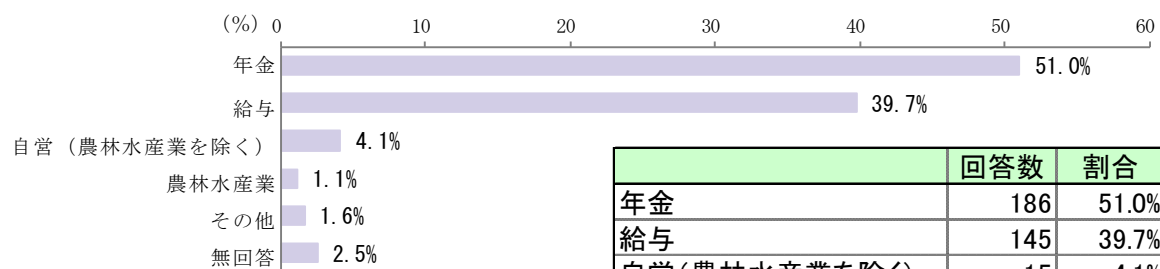
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
単身	63	17.3%
夫婦	144	39.5%
2世代同居	106	29.0%
3世代同居	22	6.0%
その他	26	7.1%
無回答	4	1.1%
全 体	365	100.0%

問6 あなたの世帯における収入について、お答えください。

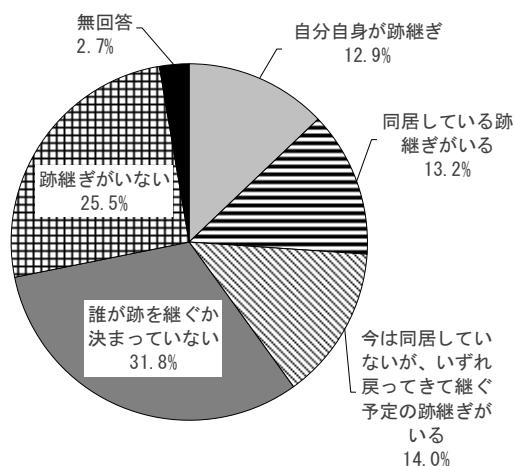
(最も多く収入を得ているもの1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
年金	186	51.0%
給与	145	39.7%
自営(農林水産業を除く)	15	4.1%
農林水産業	4	1.1%
その他	6	1.6%
無回答	9	2.5%
全 体	365	100.0%

問7 あなたの家の跡継ぎについて、お答えください。

(1つ選んで○をつけてください)

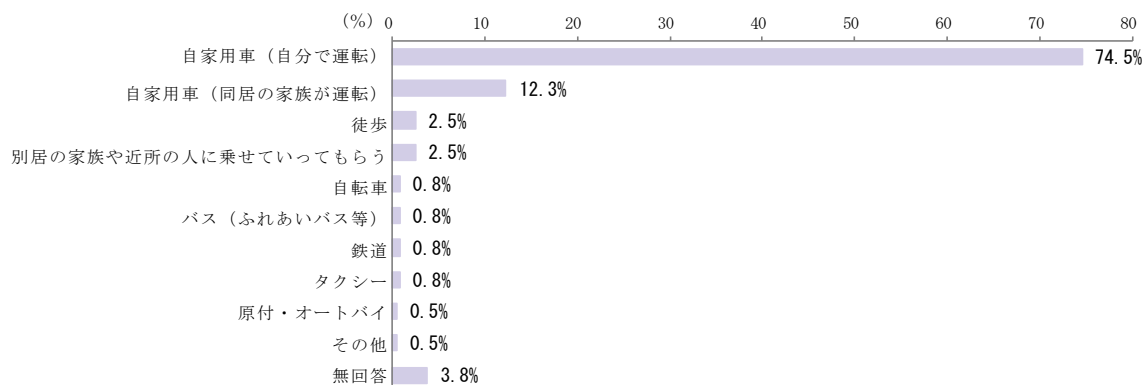


	回答数	割合
自分自身が跡継ぎ	47	12.9%
同居している跡継ぎがいる	48	13.2%
今は同居していないが、いずれ戻ってきて継ぐ予定の跡継ぎがいる	51	14.0%
誰が跡を継ぐか決まっていない	116	31.8%
跡継ぎがいない	93	25.5%
無回答	10	2.7%
全 体	365	100.0%

3 日常生活の状況について

問8 買い物や通院の際に最も利用する交通手段について、お答えください。

(1つ選んで○をつけてください)

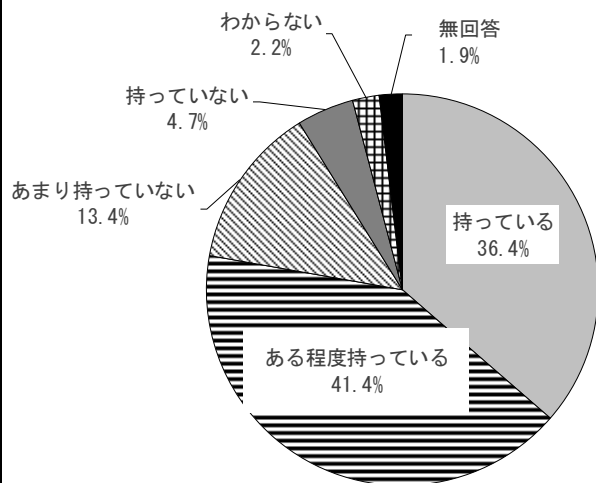


	回答数	割合
自家用車（自分で運転）	272	74.5%
自家用車（同居の家族が運転）	45	12.3%
徒歩	9	2.5%
別居の家族や近所の人に乘せていってもら	9	2.5%
自転車	3	0.8%
バス（ふれあいバス等）	3	0.8%
鉄道	3	0.8%
タクシー	3	0.8%
原付・オートバイ	2	0.5%
その他	2	0.5%
無回答	14	3.8%
全 体	365	100.0%

4 お住まいの地域・生活について

問9 あなたは、暮らしている地域に対する「愛着」や「誇り」をお持ちですか。

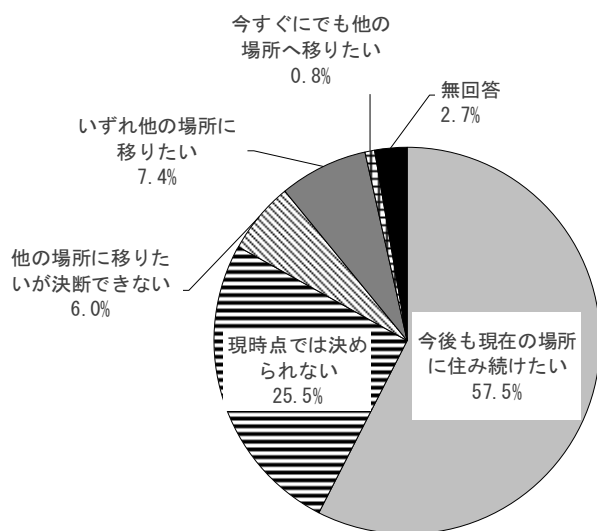
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
持っている	133	36.4%
ある程度持っている	151	41.4%
あまり持っていない	49	13.4%
持っていない	17	4.7%
わからない	8	2.2%
無回答	7	1.9%
全 体	365	100.0%

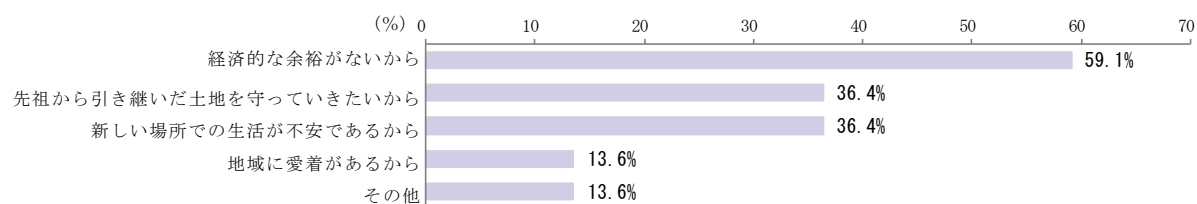
※問10は、14ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問11 これからの生活について、お答えください。(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
今後も現在の場所に住み続けたい	210	57.5%
現時点では決められない	93	25.5%
他の場所に移りたいが決断できない	22	6.0%
いずれ他の場所に移りたい	27	7.4%
今すぐにも他の場所へ移りたい	3	0.8%
無回答	10	2.7%
全 体	365	100.0%

問 12 問 11 で「他の場所に移りたいが決断できない」とお答えの方にお聞きます。その理由は何ですか。
(2つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
経済的な余裕がないから	13	59.1%
先祖から引き継いだ土地を守っていきたいから	8	36.4%
新しい場所での生活が不安であるから	8	36.4%
地域に愛着があるから	3	13.6%
その他	3	13.6%
無回答	0	0.0%
全 体	22	100.0%

※問 13 は、15 ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問 14 問 11 で「いずれ他の場所に移りたい」「今すぐにでも他の場所へ移りたい」とお答えの方にお聞きます。

移転する場合、現在の家屋や土地の扱いはどのように考えていますか。

(1つ選んで○をつけてください)

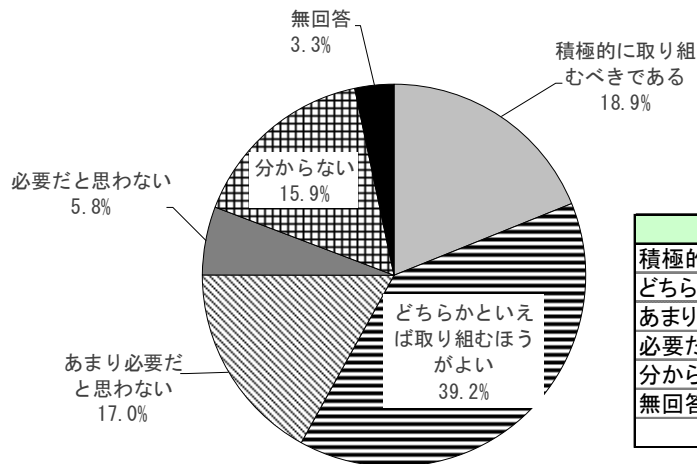


	回答数	割合
できれば売りたい	8	26.7%
取り壊したい	4	13.3%
今は特に考えていない	4	13.3%
農地や森林の管理をするために今後も利用する	3	10.0%
売るのも貸すのも考えていない	2	6.7%
将来帰ってこられるように、今後も管理していく	1	3.3%
売る気はないが、借りたい人がいれば貸しても良い	0	0.0%
その他	6	20.0%
無回答	2	6.7%
全 体	30	100.0%

5 都市との交流について

問 15 あなたは都市部の人たちとの交流についてどのようにお考えですか。

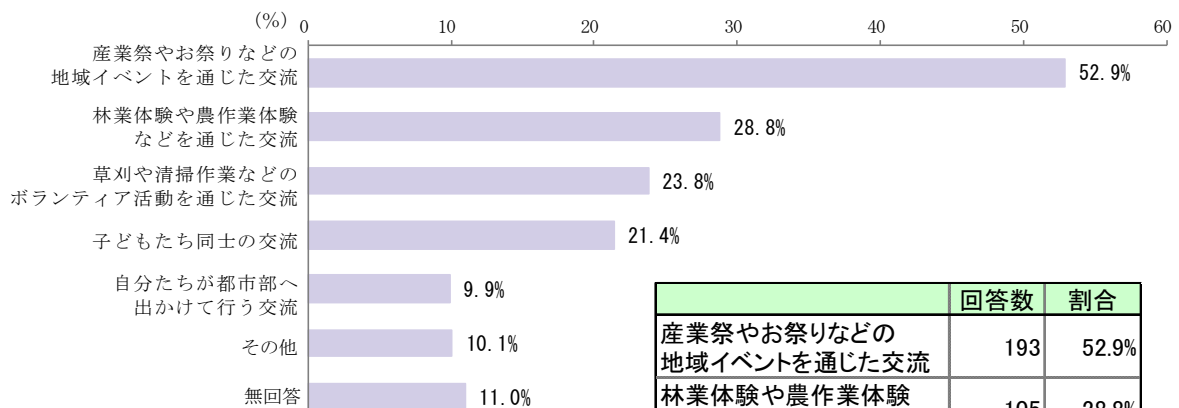
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
積極的に取り組むべきである	69	18.9%
どちらかといえば取り組むほうがよい	143	39.2%
あまり必要だと思わない	62	17.0%
必要だと思わない	21	5.8%
分からない	58	15.9%
無回答	12	3.3%
全 体	365	100.0%

問 16 都市部の人たちと交流するとしたら、どのような方法が好ましいと思いますか。

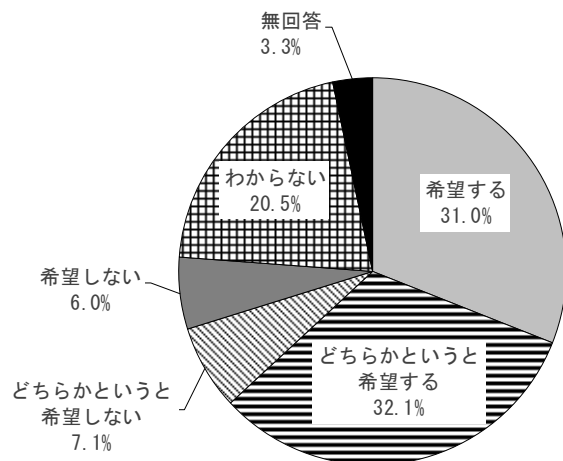
(最も好ましいと思う方法を2つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
産業祭やお祭りなどの地域イベントを通じた交流	193	52.9%
林業体験や農作業体験などを通じた交流	105	28.8%
草刈や清掃作業などのボランティア活動を通じた交流	87	23.8%
子どもたち同士の交流	78	21.4%
自分たちが都市部へ出かけて行く交流	36	9.9%
その他	37	10.1%
無回答	40	11.0%
全 体	365	100.0%

問 17 あなたの住んでいる地域や周辺に移住者が来ることを希望しますか？

(1つ選んで○をつけてください)

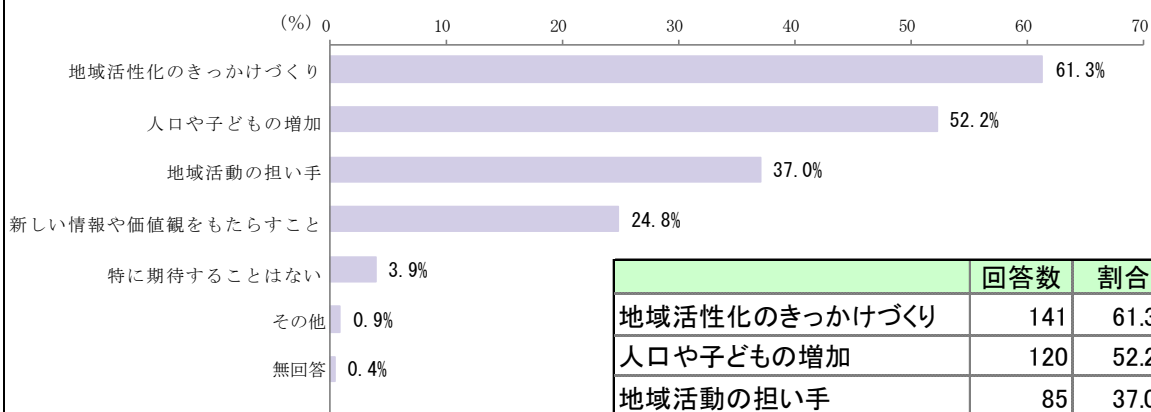


	回答数	割合
希望する	113	31.0%
どちらかという希望する	117	32.1%
どちらかという希望しない	26	7.1%
希望しない	22	6.0%
わからない	75	20.5%
無回答	12	3.3%
全 体	365	100.0%

問 18 問 17 で「希望する」「どちらかという希望する」とお答えの方にお聞きします。

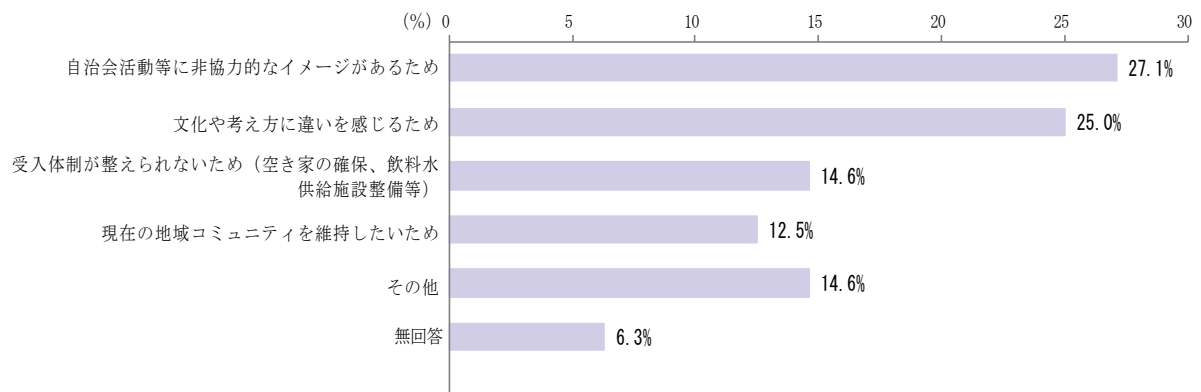
移住者にどのようなことを期待しますか。

(最も期待する項目を2つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
地域活性化のきっかけづくり	141	61.3%
人口や子どもの増加	120	52.2%
地域活動の担い手	85	37.0%
新しい情報や価値観をもたらすこと	57	24.8%
特に期待することはない	9	3.9%
その他	2	0.9%
無回答	1	0.4%
全 体	230	100.0%

問 19 問 17 で「どちらかという希望しない」「希望しない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。（1つ選んで○をつけてください）

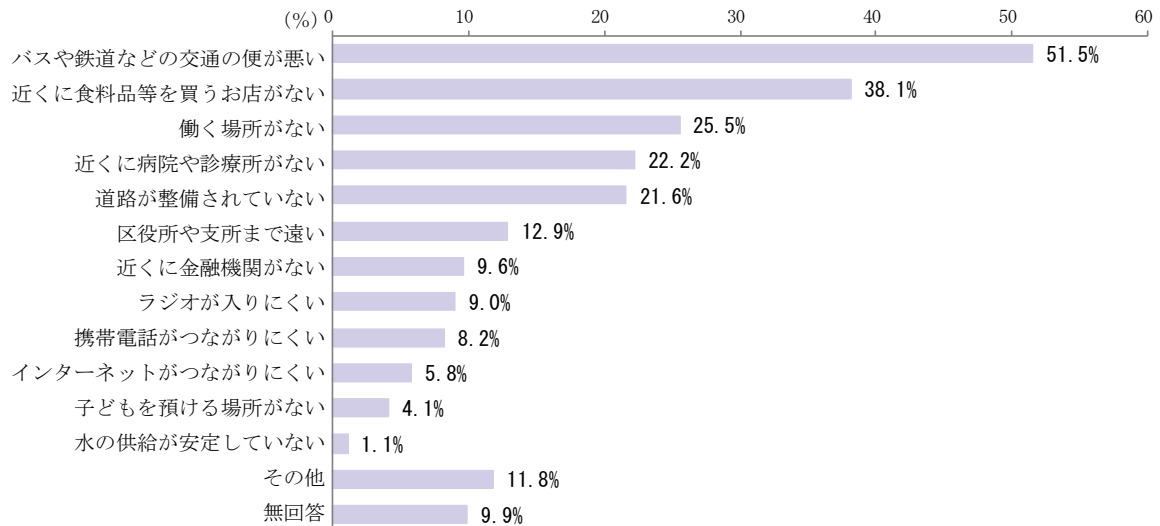


	回答数	割合
自治会活動等に非協力的なイメージがあるため	13	27.1%
文化や考え方に違いを感じるため	12	25.0%
受入体制が整えられないため （空き家の確保、飲料水供給施設整備等）	7	14.6%
現在の地域コミュニティを維持したいため	6	12.5%
その他	7	14.6%
無回答	3	6.3%
全 体	48	100.0%

6 生活上の課題や対策について

問 20 現在の日常生活において不便に思うことは何ですか？

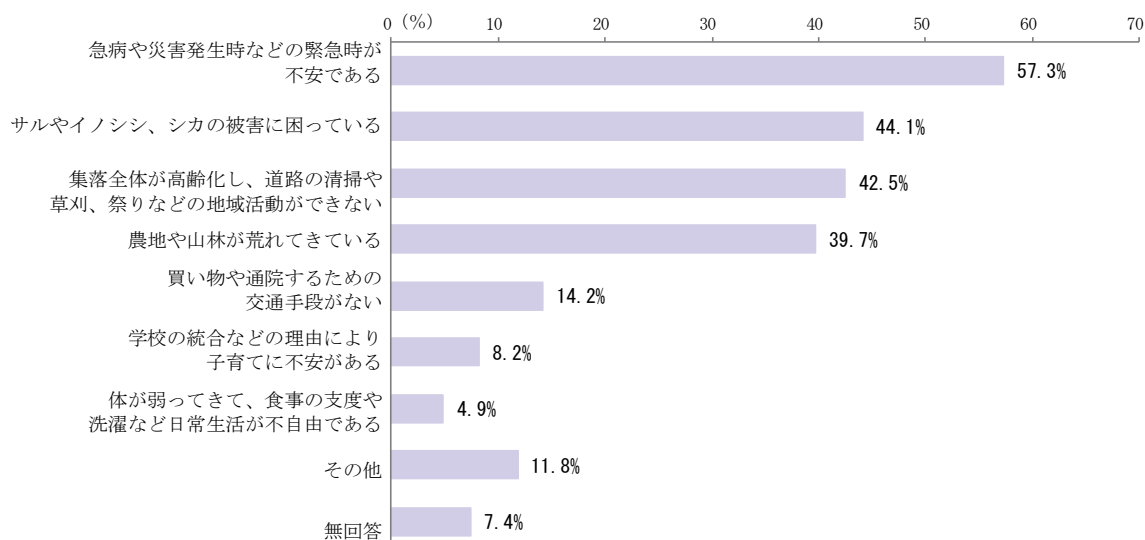
(3つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
バスや鉄道などの交通の便が悪い	188	51.5%
近くに食料品等を買うお店がない	139	38.1%
働く場所がない	93	25.5%
近くに病院や診療所がない	81	22.2%
道路が整備されていない	79	21.6%
区役所や支所まで遠い	47	12.9%
近くに金融機関がない	35	9.6%
ラジオが入りにくい	33	9.0%
携帯電話がつながりにくい	30	8.2%
インターネットがつながりにくい	21	5.8%
子どもを預ける場所がない	15	4.1%
水の供給が安定していない	4	1.1%
その他	43	11.8%
無回答	36	9.9%
全 体	365	100.0%

問 21 現在の生活で心配なことや困っていることは何ですか。

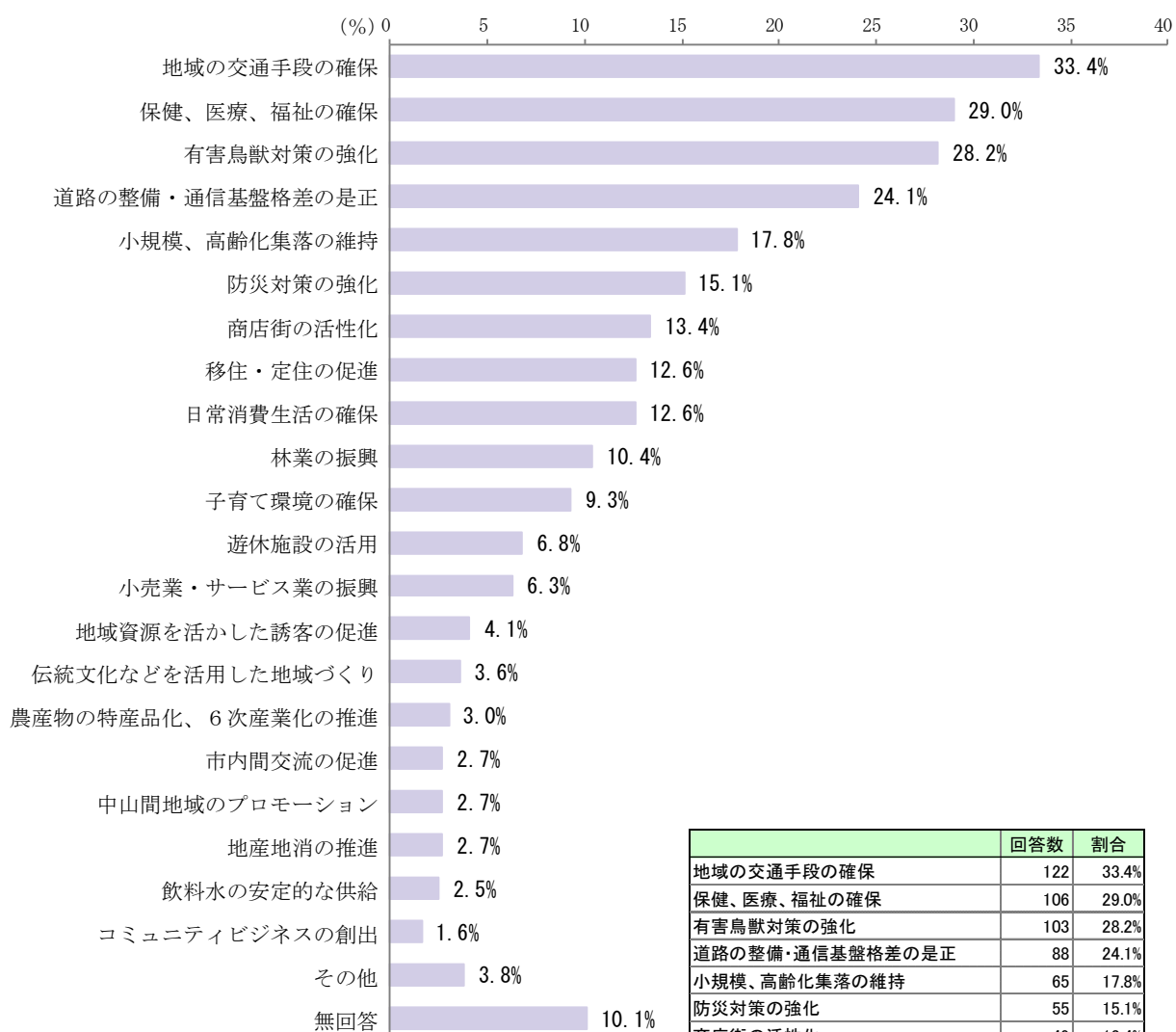
(3つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
急病や災害発生時などの緊急時が不安である	209	57.3%
サルやイノシシ、シカの被害に困っている	161	44.1%
集落全体が高齢化し、道路の清掃や草刈、祭りなどの地域活動ができない	155	42.5%
農地や山林が荒れてきている	145	39.7%
買い物や通院するための交通手段がない	52	14.2%
学校の統合などの理由により子育てに不安がある	30	8.2%
体が弱ってきて、食事の支度や洗濯など日常生活が不自由である	18	4.9%
その他	43	11.8%
無回答	27	7.4%
全 体	365	100.0%

問 22 今後の中山間地域への施策として、最も望むことは何ですか。

(3つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
地域の交通手段の確保	122	33.4%
保健、医療、福祉の確保	106	29.0%
有害鳥獣対策の強化	103	28.2%
道路の整備・通信基盤格差の是正	88	24.1%
小規模、高齢化集落の維持	65	17.8%
防災対策の強化	55	15.1%
商店街の活性化	49	13.4%
移住・定住の促進	46	12.6%
日常消費生活の確保	46	12.6%
林業の振興	38	10.4%
子育て環境の確保	34	9.3%
遊休施設の活用	25	6.8%
小売業・サービス業の振興	23	6.3%
地域資源を活かした誘客の促進	15	4.1%
伝統文化などを活用した地域づくり	13	3.6%
農産物の特産品化、6次産業化の推進	11	3.0%
市内間交流の促進	10	2.7%
中山間地域のプロモーション	10	2.7%
地産地消の推進	10	2.7%
飲料水の安定的な供給	9	2.5%
コミュニティビジネスの創出	6	1.6%
その他	14	3.8%
無回答	37	10.1%
全 体	365	100.0%

問 10 あなたが望む中山間地域の将来像はどのようなイメージですか。（自由記述）

- ・近くに病院（診療所等）、食品店があること。
- ・医療や生活に安心できるまち。
- ・年寄りが困らないまち。（買い物、病院等。）
- ・医療、福祉の充実した安心して暮らせるまち。
- ・安心、安全に子育てができるまち。
- ・子育てしやすい、若い人達が住み続けられる。
- ・人口は少なくとも公共交通機関や身近な医療が確保され、安心して住める田舎地域。
- ・安心安全はもちろんですが、交通手段も心配がいない地域でいられるようになると良いです。
- ・歳をとって車の運転が出来なくなっても生活に困らない地域。
- ・交通の便が確保されているまち。
- ・公共交通手段が有り市街と移動出来る地域。
- ・働ける場所がある。若い人が多くいるまち。
- ・仕事を続けながら、安心して暮せるまち。
- ・買い物、クリニックなど社会インフラがあるまち。
- ・生活に必要な物が近くで手に入る地域。
- ・子どもたちが生活しやすいまち。（学校などが近くにある。）
- ・友達に自慢できるまち。
- ・ずっと住み続けられるまち。
- ・自然と共生しながら、暮らしやすいまち。
- ・住み慣れた地域で、自分らしい生活ができるまち。
- ・学校がなくなり、駐在所もなくなり、農協もなくなり、盛大だった祭りも人が減って活気がなくなり、増えるのは一人暮らしの老人とシカとイノシシばかり、あと5年もすると農地の維持もできなくなり絶望的です。
- ・若い人がいなくなり高齢者ばかりになり助け合って生活していても限界がきて住み続けることができなくなるまち、空き家ばかりになるまちになるのではないかな。
- ・自然環境の中で、自分が動き生かされているのであればこのままで暮らしたい。家のまわりは亡くなったり、町に出て行ったりで、家は残っているが人が居なく限界集落に近く将来像と言われてもピンときません。
- ・少ない人口ながらも、まちに活気があり、誰もが笑顔でいきいきと暮らせるまち。
- ・買い物、通院ができ、健康、学びをサポートして頂ける幸福度の高いまち。
- ・若い世代が増えて活気あふれるまち。
- ・ずっと住み継がれるまち。
- ・年を取っても、いきいきと暮らせるまち。
- ・病院があり、食品等の買い物ができる店があり、道路が安全・便利に整備されていることで自立して生活できるので、それを実行してくれる市政が機能し続けること。
- ・想像できないのでわからない。
- ・特別なイメージはわからない。

- ・若い移住者であふれるまち。
- ・住民同士が協力し、助け合いながら暮らせるまち。
- ・現在より人々の交流が盛んなまち。
- ・高齢者が住みなれたこの土地で隣近所の助け合い精神で高齢者を支え、行政など（ふれあいセンター）と繋がりのあるまち。
- ・住民による支え合い、助け合いと公的支援のシステムが整っているまち。
- ・若い人達がふえて、皆が助け合って暮らせるまち。
- ・高齢化は進み、人口は減少していくが、住民が助け合い、自分達でできる事はしていく。
- ・人の交流が盛んになって山間地の良さが共有できる様になってくるまち。
- ・子供から老人まで健康で、安全に暮らせる地域。
- ・災害時安心して暮らせる地域。

問 13 問 11 で「いずれ他の場所に移りたい」「今すぐにでも他の場所へ移りたい」とお答えの方にお聞きします。移転を希望する理由を教えてください。

- ・高齢になった時、医療が不安。
- ・子どもの進学を考えると、今、生活の移動に労力がかかっている。
- ・街へのアクセスが良くない。公共交通機関が少ないので、いずれ高齢者になったとき、自分で外出しづらくなるのが少し不安。外灯が少ない。今の場所に居住するメリットがあまり見つけられない。
- ・運転出来なくなったら生活できない。
- ・通勤に時間がかかる。
- ・移りたいと言うより、移らざるを得ない。自分で車を運転できなければ生活の手段がないから。
- ・社会資源も無くなり、人材も居なくなるから継続は出来ない。
- ・水道の件、水がこなくなった時一番困るから。今は自分達で管理していますが出来なくなった時困るので、その時は他の場所に移ります。
- ・一人での生活が不安だから。

その他、中山間地域振興に対するご意見。（自由記述）

- ・介護施設が足りません。
- ・全部があてはまる事だと思う。特に医者ほしい。
- ・今後、保育園が統合されてしまうため、子どもの預け先に苦勞する親が増えるのではないかと心配しています。少子化も進んでいる今、子育てしながら働きやすい環境をぜひ作っていただき、子どもの数が増え、いきいきとしたまちづくりにつなげていただければ嬉しいです。
- ・自然の中で子育てをしたいと思っても、子どもの少なさが気になる。自然の中で子供をあそばせる良さを発信してほしい。
- ・子どもを育てやすい環境と支援。

- ・若い人達が地元に残って安心して子育てができるよう働く場所が確保できるようにお願い致します。
- ・自動車の運転が出来なくなった時にバス、タクシーなどの交通手段がない事が一番困ります。
- ・生活道路の整備はライフラインの基盤である。路面の補修や落石防護ネットの設置等、自治会から要望が出た案件についてはすみやかに改善されるよう、予算の増額をお願いしたい。
- ・主要道路が通れなくなると（災害等）迂回路が遠回りで買い物難民になる。
- ・中山間地域振興には、まず、アクセス道路の整備が必要（都市部からの所要時間の短縮、安全な道路。（完全2車線化））
- ・中山間地域といっても、病院、銀行、電車、バスもあります。とりあえずの生活に苦はありません。ただ、道路が通行止めとなった場合、流通が止まってしまうのが一番困ります。仕事に通っている人も大勢います。安全な道路の確保をお願いしたいです。
- ・車道が崩れたりして、通行出来ない時は迂回路を早く整備して下さい。
- ・高齢者でも働ける場所を作ってもらいたい。
- ・中山間地域振興の決め手はとにかく働く場の確保が必要かと思う。
- ・中山間地域の自然を維持しながら、自然を活かした企業の誘致など人口が少しでも増える活動を官民で考える環境が必要ではないかと思う。
- ・仕事がないことで若い人が子供の将来を見据え街へ出ていく。
- ・移住する方が増えてくれるのは空き家対策等にもつながり、いいことだとは思いますが、トラブルも発生することが予想される。現にご近所トラブル（対移住者との）が数年前に実際にあったので、不安はある。買い物をする場所がなくなり、移動販売車が増えて助かっている部分もあるが、すぐには買い足しができないので、やっぱりお店は必要。
- ・幼・壮・老バランスのとれた人口構成になってはじめて地域が維持継承されると思います。それには何をにおいても産業振興が必須の案件と考えます。この他に、今有る物は山林ですから、林産加工業を起こすことがいいのではないかと。
- ・中山間地域は、道路の整備や水道などの保守整備に多くの金が掛るので、都市部や外国人旅行者が訪れる魅力ある地域作りを行い、活性化を図ると良いと思う。
- ・有害鳥獣対策に本腰を入れてほしい。このままでは、集落の人口より鹿イノシシの数が多くなり生活ができなくなります。
- ・この地域では古い歴史を有している所である。その歴史をもう一度掘り起こしてみたらと思う。
- ・自然の中で生活できる事は何事にも変えられない。また誰もが持てるものではない幸せな日常だと思う。そんな日常が死まで続けられたらどんなにいいだろうと思う。そんな日常を過ごす事のできる、手助けがほしい。
- ・地域の住民が様々な事に関心を持ち、生活が向上することを願います。すばらしい自然を生かして、世界中に知られる場所にもなると思います。若い方の力になりたいと思います。
- ・空き家を活用した移住促進。

- ・遊休農地を活用した市民農園（滞在型）の開設。
- ・都市部に比べて人口減少や高齢化が進んでいるので生活サービス、交通手段の確保、デジタル化が充実してほしいです。
- ・浜松の半分の面積は天竜区です。対処療法的なバラまき施策ではなく、中山間地域の魅力を発信していければと思います。また、そういった民間団体へ予算を出してやってもらうなどが良いかなと思います。
- ・都市部ばかりに手厚く、お金を掛け文化的、経済的、社会的整備がされている。森林や河川、水、電力などの貢献はあまり顧みていないと感じる。中山間地で生き、頑張る人々がたくさんいることを、より様々な交流を通して理解を深めて頂きたい。文化的施設や学校の撤廃ばかり進めず、住人の福祉、生活環境、文化的環境の充実をより図る方向で知恵を絞り実行して頂きたい。この調査をそのために活用願いたい。
- ・アンケートにかかれたことが少しでも反映されるといいです。
- ・人口減少のいちじるしい今日この頃どこまで減少が続くのか日々生活の中で原風景がどの様に変化していくのかと寂しい思いで過ごしています。人口増加につながらなければここでの生活を送ることは難しいのかと感じています。なんとか若い人達の流れを食い止め、活気ある町になってくれることを切に願っています。活気のある町作りの行政の力を期待しています。
- ・縦割り行政ではなく組織の横つながりをもって前例に固執せず、柔軟な対応がほしい。
- ・過疎化地域への活性化対策を望む。市街地優先が際立ち中山間地域との格差が拡大している。市内が同一レベルの生活圏となることを期待する。
- ・集落の高齢化が進んでいて、今後不安が大きい、安心して生活できるようにしてほしい。
- ・中山間地域の活性化のために関係人口を増やすような取り組みをしてほしい。
- ・地域でイベントがあっても知らないことがある。宣伝方法に工夫や変更が必要なのではないかと思うことがあります。
- ・今後起こるだろうと言われている天変地異に備えて、防災の意識を高めるよう啓発することや行政においても陸の孤島とならない様に準備をお願いしたいです。
- ・安全な避難所の設置をお願いします。
- ・近年の災害等により住みつづけるのに不安。
- ・都市部と中山間地域との格差を感じないサービスの充実化。中山間地域でも単身で安心安全に暮らせる充実感を感じる生活ができる様に希望します。
- ・国道の土砂災害対策、崩落後の早期復旧。

「都市部」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域アンケート 結果概要

- ◆このアンケート調査は、令和7年度を始期とする第三次浜松市中山間地域振興計画を作成するにあたっての基礎資料とするため中央区及び浜名区（中山間地域を除く）にお住まいの方を対象に行なったものです。
- ◆このアンケート調査は、上記区域内の18歳以上（R6.1.24現在）の方から無作為に抽出した200の方に送付し、100の方に回答をいただきました。

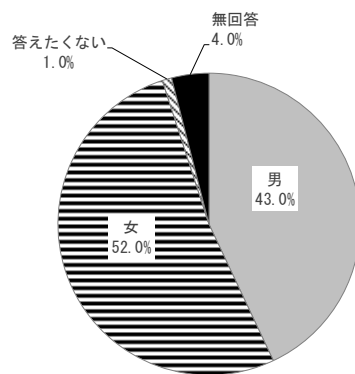
■ 集計上の留意点

- （1）比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が100.0%にならないことがある。
- （2）「全体」を基数とし、回答割合はこれを100.0%として算出した。
- （3）複数回答が可能な質問でも、基数となる実数は「全体」であるため、パーセントの合計は通常100.0%を超える。

1 回答者について

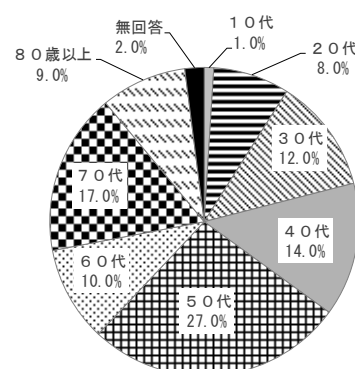
問1 あなたの性別・年代について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください

① 性別



	回答数	割合
男	43	43.0%
女	52	52.0%
答えたくない	1	1.0%
その他	0	0.0%
無回答	4	4.0%
全 体	100	100.0%

② 年代

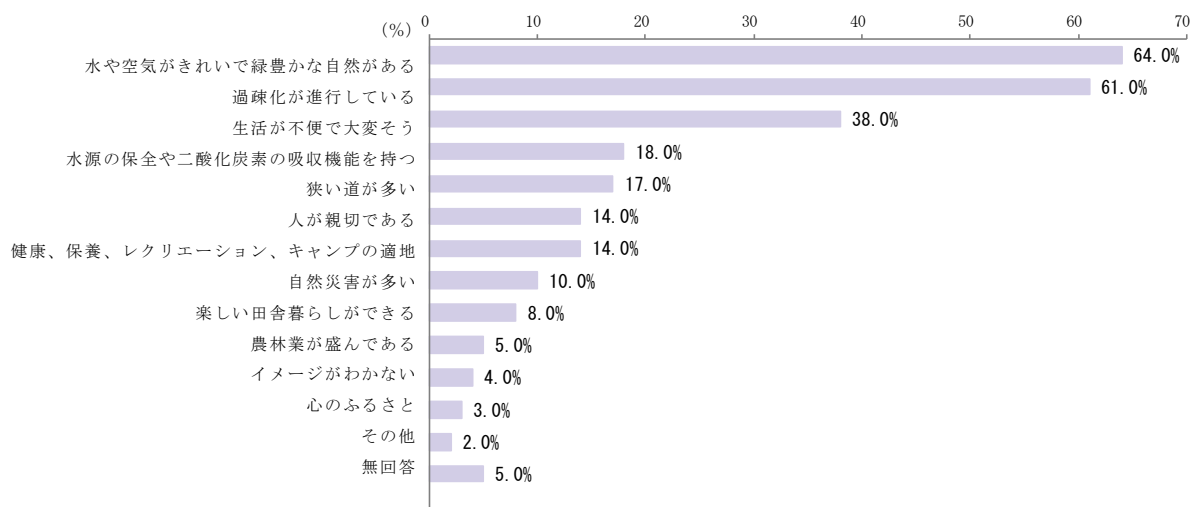


	回答数	割合
10代	1	1.0%
20代	8	8.0%
30代	12	12.0%
40代	14	14.0%
50代	27	27.0%
60代	10	10.0%
70代	17	17.0%
80歳以上	9	9.0%
無回答	2	2.0%
全 体	100	100.0%

2 中山間地域に対するイメージについて

問2 中山間地域に対してどのようなイメージをお持ちですか？

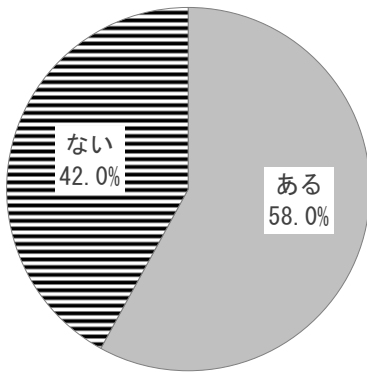
(3つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
水や空気がきれいで緑豊かな自然がある	64	64.0%
過疎化が進行している	61	61.0%
生活が不便で大変そう	38	38.0%
水源の保全や二酸化炭素の吸収機能を持つ	18	18.0%
狭い道が多い	17	17.0%
人が親切である	14	14.0%
健康、保養、レクリエーション、キャンプの適地	14	14.0%
自然災害が多い	10	10.0%
楽しい田舎暮らしができる	8	8.0%
農林業が盛んである	5	5.0%
イメージがわからない	4	4.0%
心のふるさと	3	3.0%
その他	2	2.0%
無回答	5	5.0%
全 体	100	100.0%

問3 過去1年間に浜松市内の中山間地域を訪れたことがありますか？

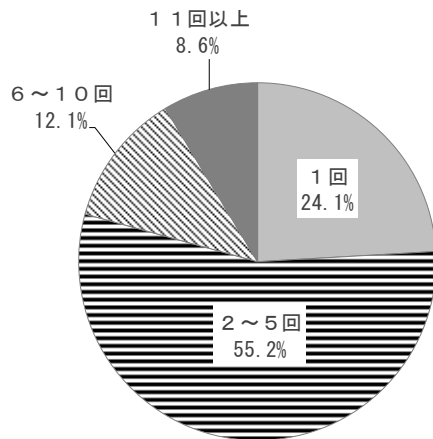
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
ある	58	58.0%
ない	42	42.0%
無回答	0	0.0%
全 体	100	100.0%

問4 問3で「ある」と答えた方に伺います。1年間でどの程度訪れましたか？

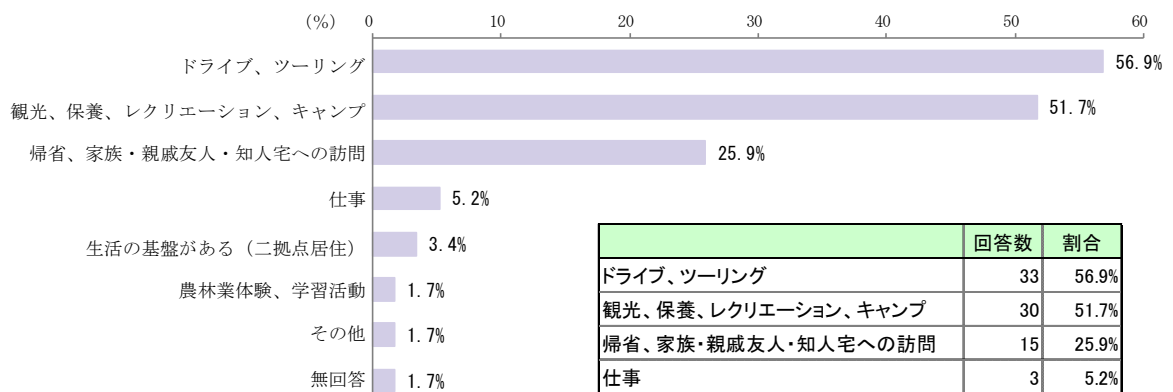
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
1回	14	24.1%
2～5回	32	55.2%
6～10回	7	12.1%
11回以上	5	8.6%
無回答	0	0.0%
全 体	58	100.0%

問5 問3で「ある」と答えた方に伺います。訪れた目的は何ですか？

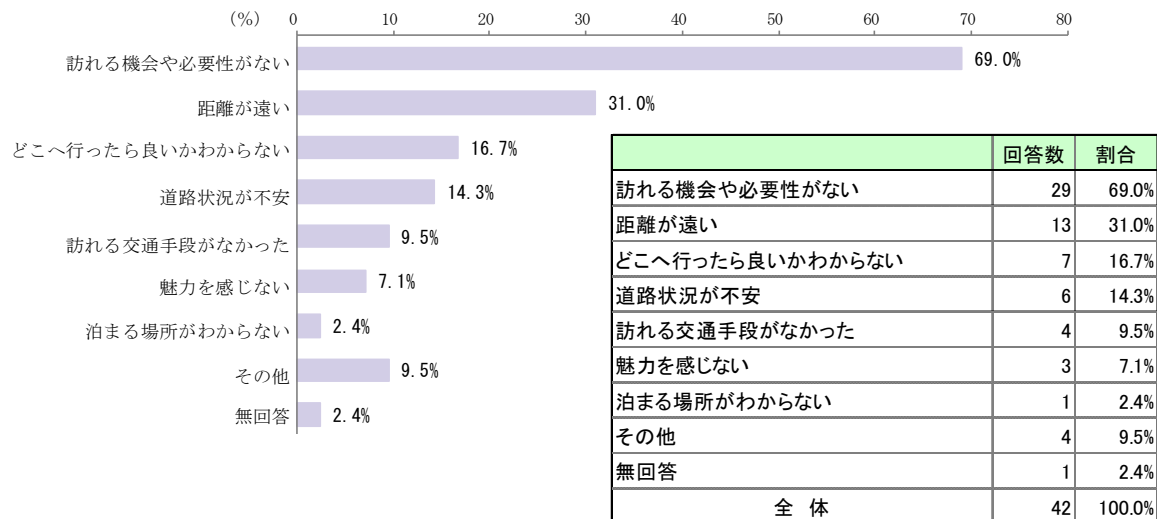
(2つまで選んで○をつけてください)



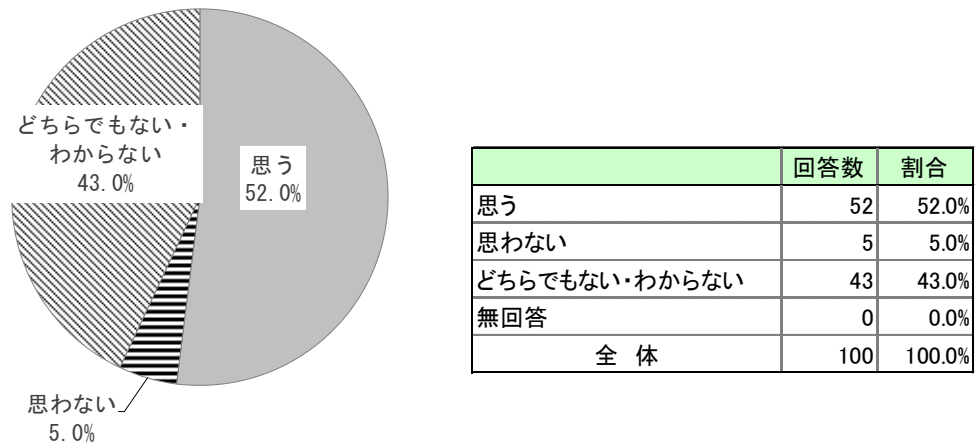
	回答数	割合
ドライブ、ツーリング	33	56.9%
観光、保養、レクリエーション、キャンプ	30	51.7%
帰省、家族・親戚友人・知人宅への訪問	15	25.9%
仕事	3	5.2%
生活の基盤がある(二拠点居住)	2	3.4%
農林業体験、学習活動	1	1.7%
その他	1	1.7%
無回答	1	1.7%
全 体	58	100.0%

問6 問3で「ない」と答えた方に伺います

訪れたことがない理由は何ですか？（2つまで選んで○をつけてください）

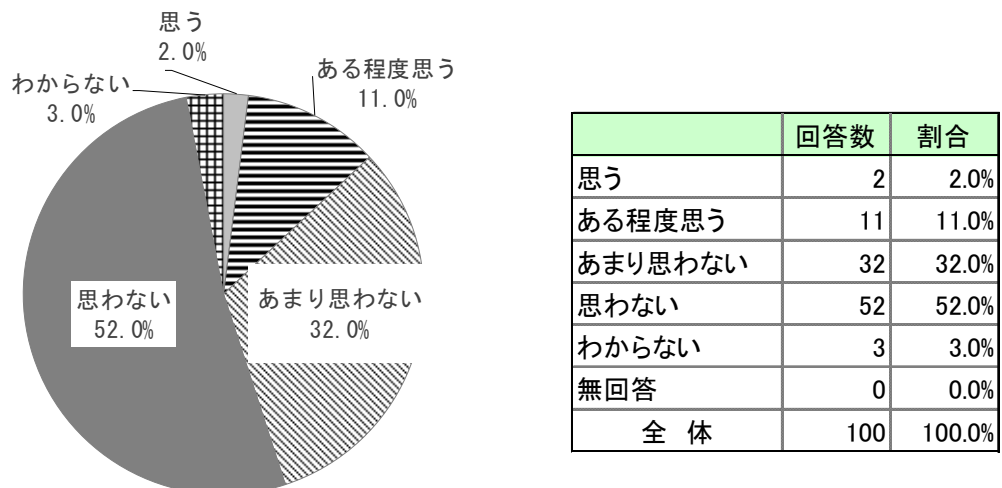


問7 中山間地域は市民にとって魅力的・大切な地域（浜松の宝）だと思いますか？

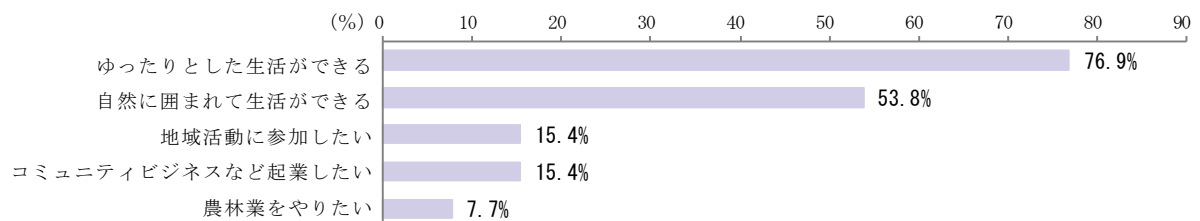


※問8は、10ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問9 中山間地域に居住したいと思いますか？

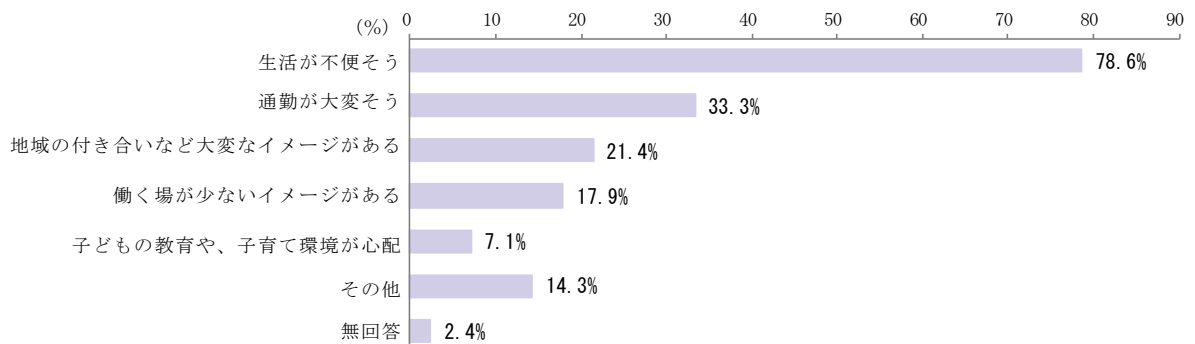


問 10 問 9 で「思う」または「ある程度思う」と答えた方に伺います。
 どのような理由ですか？ （2 つまで選んで○をつけてください）



	回答数	割合
ゆったりとした生活ができる	10	76.9%
自然に囲まれて生活ができる	7	53.8%
地域活動に参加したい	2	15.4%
コミュニティビジネスなど起業したい	2	15.4%
農林業をやりたい	1	7.7%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全 体	13	100.0%

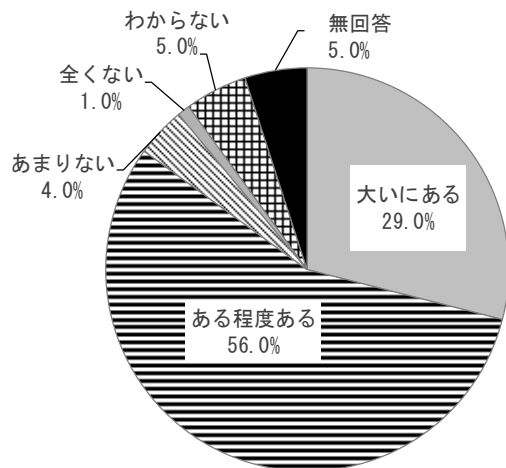
問 11 問 9 で「あまり思わない」または「思わない」と答えた方に伺います。どの
 ような理由ですか？ （2 つまで選んで○をつけてください）



	回答数	割合
生活が不便そう	66	78.6%
通勤が大変そう	28	33.3%
地域の付き合いなど大変なイメージがある	18	21.4%
働く場が少ないイメージがある	15	17.9%
子どもの教育や、子育て環境が心配	6	7.1%
その他	12	14.3%
無回答	2	2.4%
全 体	84	100.0%

問 12 中山間地域は都市部と比べて生活環境に格差があると思いますか？

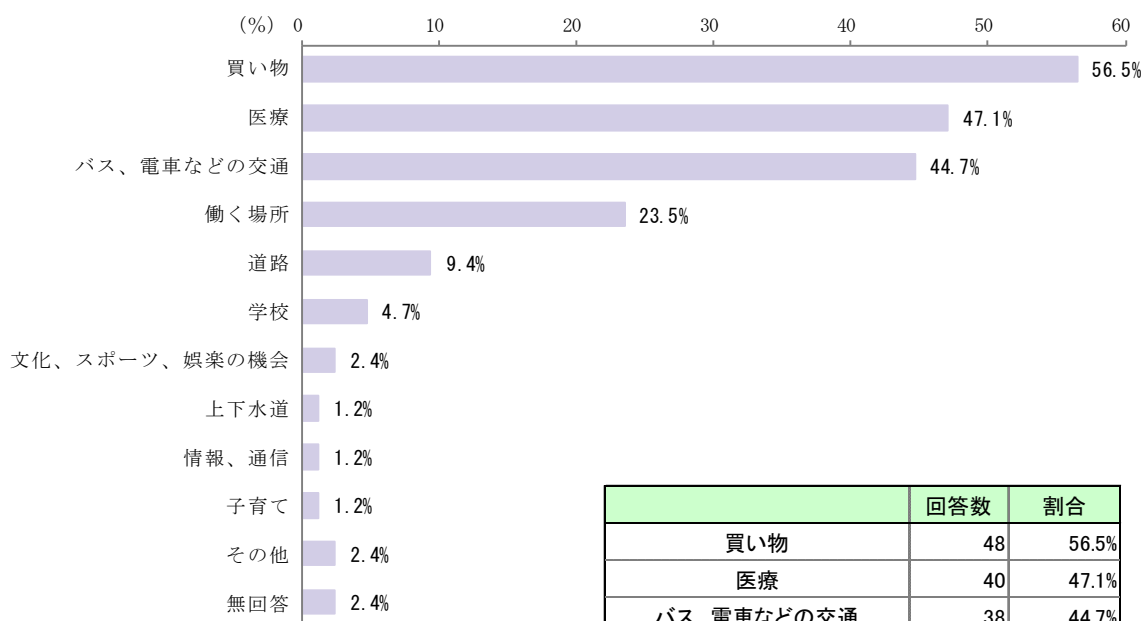
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
大いにある	29	29.0%
ある程度ある	56	56.0%
あまりない	4	4.0%
全くない	1	1.0%
わからない	5	5.0%
無回答	5	5.0%
全 体	100	100.0%

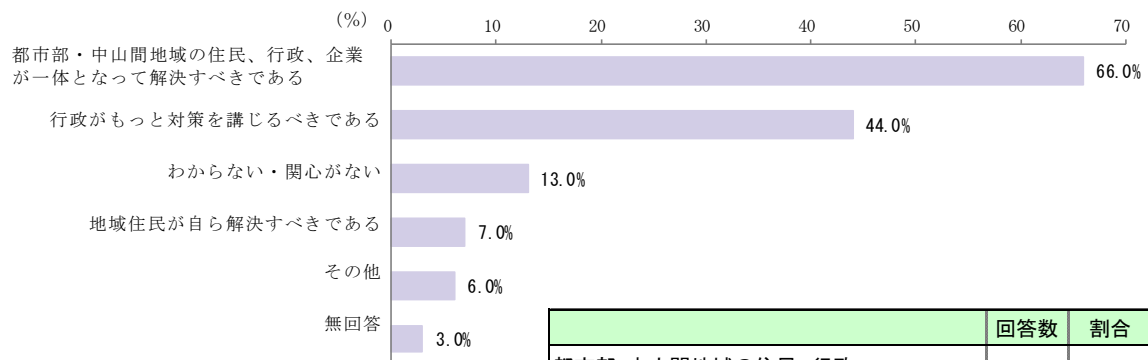
問 13 問 12 で「大いにある」または「ある程度ある」と答えた方に伺います。どのような格差があると思いますか？

(2つまで選んで○をつけてください)



	回答数	割合
買い物	48	56.5%
医療	40	47.1%
バス、電車などの交通	38	44.7%
働く場所	20	23.5%
道路	8	9.4%
学校	4	4.7%
文化、スポーツ、娯楽の機会	2	2.4%
上下水道	1	1.2%
情報、通信	1	1.2%
子育て	1	1.2%
その他	2	2.4%
無回答	2	2.4%
全 体	85	100.0%

問 14 中山間地域は、過疎化、高齢化など様々な課題があります。このことについて、あなたはどのように思いますか？（2つまで選んで○をつけてください）



	回答数	割合
都市部・中山間地域の住民、行政、企業が一体となって解決すべきである	66	66.0%
行政がもっと対策を講じるべきである	44	44.0%
わからない・関心がない	13	13.0%
地域住民が自ら解決すべきである	7	7.0%
その他	6	6.0%
無回答	3	3.0%
全 体	100	100.0%

問 15 あなたは中山間地域とどのような関係をつくりたいと思いますか？（2つまで選んで○をつけてください）



	回答数	割合
中山間地域の農作物を積極的に購入する	53	53.0%
何かしたいが、具体的には分らない	36	36.0%
中山間地域のイベント(産業まつり等)に頻繁に出かけていき交流する	29	29.0%
森林保全などのための基金等に寄付する	9	9.0%
何もしたいとは思わない	8	8.0%
ボランティアとして支援する	0	0.0%
その他	5	5.0%
無回答	4	4.0%
全 体	100	100.0%

問8 中山間地域に何があったら訪れたいと思いますか？（自由記述）

- ・農産物・郷土料理が味わえる道の駅。
- ・自然を生かしたレジャー施設の設置。
- ・古民家宿泊施設の設置。
- ・子ども達を楽しめる施設の設置。
- ・キャンプ場・新鮮な野菜等、特色を発信する必要がある。
- ・中山間地域の具体的な場所を示した冊子の作成。
- ・ウォーキング等の自然体験ができる場所の確保。
- ・広く農産物を販売する。
- ・美味しい名産品のアピール。
- ・伝統の技（調理法等）を教える講座。
- ・他地域の人参加できるような祭り等のイベント開催。
- ・物産展等の開催。
- ・民俗芸能イベントの開催。
- ・地域の特性を活かしたイベントの開催。
- ・訪問者も農林作物等を楽しめる収穫祭を開催。
- ・家族や友人と気軽に参加できる体験ワークショップの開催。
- ・道路整備。
- ・交通手段の充実。
- ・民芸品等を道の駅で販売。

その他、中山間地域振興に対するご意見。（自由記述）

- ・過疎化抑制には若年層の人口増が課題。魅力を感じてもらうには子育て世代を優遇する施策が必要。
- ・自然災害に強い、安全でアクセスの良い道路を作る。
- ・交通弱者のためのインフラ整備が必要。
- ・交通機関が不十分で、出掛けたくても出来ない。
- ・働く場所がなければ若い人は定着しない。
- ・若い人が住み続けられる場所になれるのがなによりだと思う。
- ・魅力に溢れ需要がある施設の設置。
- ・平野部に中山間地域振興のための道の駅等の施設を設置。
- ・滞在できる施設を作る。
- ・SNS を利用し地域を知ってもらうようアピールする。
- ・中山間地域の問題や取り組みを知らなかった。認知してもらうようアピールが必要。
- ・マップや地域イベントが記載された配布物で中山間地域を知ってもらう必要がある。
- ・森林保全は重要であるが、極端に人口の少ない地域に税金を投入することには複雑な思いがある。
- ・高齢者のために生活上必要な用事を頼むことが出来る機関を作ると良いと思う。
- ・人々に中山間地域に行きたいと思わせるような活動を行政が進めるべき。
- ・ドライブルートや店の案内等、地域の情報誌があると良い。

- ・「中山間地域の何を守りたいのか」行政は思想を持って取り組んで欲しい。
- ・地域交流の場を増やす。